

イエローキャップレポート

先月10月27日(土)十和田商工会館において市民まちづくりフォーラムin十和田が開催されました。県内各市町村から多くの方々が集まり、まちづくりについて様々な議論や情報交換がなされました。

午前には「小都市サミット」と称し、県内5市の代表者が集まっての情報交換会や、市内の高校生・大学生を交えた討論会が行われました。



イエローキャップ活動報告

午後からはフォーラムのメインのひとつとして、「十和田市のまちづくりにおけるイエローキャップの取り組み」と題し、私たちイエローキャップの活動報告がなされました。その中で、今まで行ってきた各種調査の結果や、大型SC出店で揺れるまちづくりの動き、また、合意形成の難しさなどが発表されました。イエローキャップ発表の次には、八戸市出身の落

語家、桂小文治さんの落語が上演されました。「ねずみ」と題する演目で、地方の小さな旅籠が繁盛していく様子を楽しんで話してくださいました。



発表後のフリーディスカッション

最後に、姫路工業大学教授で経済評論家の中沢孝夫氏による講演が行われました。その中では、これからは大きな開発の時代ではないということと、山形県高畠町の例を挙げ、創意工夫の大切さを強調されていました。



中沢氏の講演の様子

講演後のフリーディスカッションでは、各地の代表者から様々な意見が出され、有意義な情報交換がなされたフォーラムでした。

とれたて! 商店街情報

タウンギャラリー開催中!

10月25日(木)より稲生町一丁目から八丁目までの商店に「十和田市児童生徒発明くふう展」の絵画部門応募作品が展示されています。

子供達の自由な発想で描かれた楽しい作品をぜひご覧になってください。

商店街や個店の売り出し、イベントなどがありましたら、どしどしサポートセンターまでお寄せ下さい。皆さんの情報お待ちしております。

TEL FAX 25-6885
e-mail yellowcap@mx5.et.tiki.ne.jp
http://ww5.et.tiki.ne.jp/~yellowcap

三本木小学校の皆さんが商店街見学

10月25日(木)、三本木小学校5年生の皆さんが社会科の授業の一環として当商店街の見学にきてくださいました。

生徒の皆さんは、商店としてどのような努力をしているのかなどを一生懸命質問していました。



「アーケード祭り」盛況に終わる

10月27日(土)・28日(日)、中央商店街において第20弾アーケード祭りが開催されました。



その中で「アートフェスティバル」も開催され、若者達もたくさん集まり、熱気あふれるイベントとなりました。

まちづくり情報

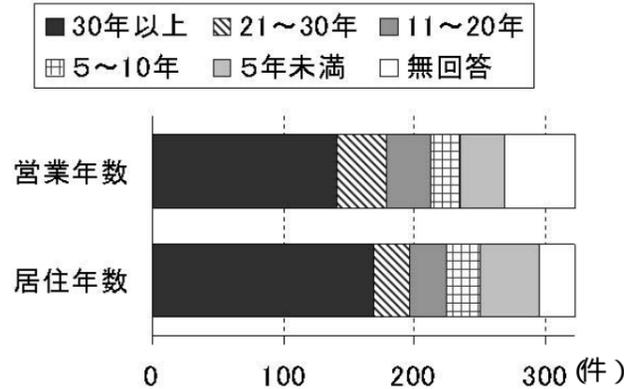
200年 11月 22日
NO.12

発行・責任者
十和田市商店街
振興組合連合会
理事長 田中庸治

稲生町街区住民・商業者対象……… まちづくりアンケート結果報告

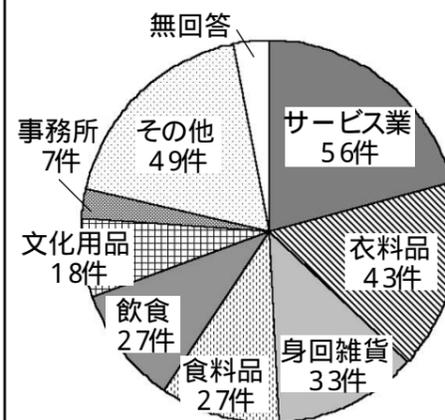
9月に実施しました地域住民・商業者を対象としたアンケートの第1次集計結果がまとまりましたので、ご紹介致します。アンケートは稲生町一丁目～八丁目の住民または商業者502件のうち、手渡し可能な388件に配布され、最終的に322件が回収されました。

稲生町での居住年数と営業年数



回答者の約半数が30年以上も稲生町に居住または営業されており、83%の方は何らかの事業を営んでおられることがわかりました。

商店の業種分類

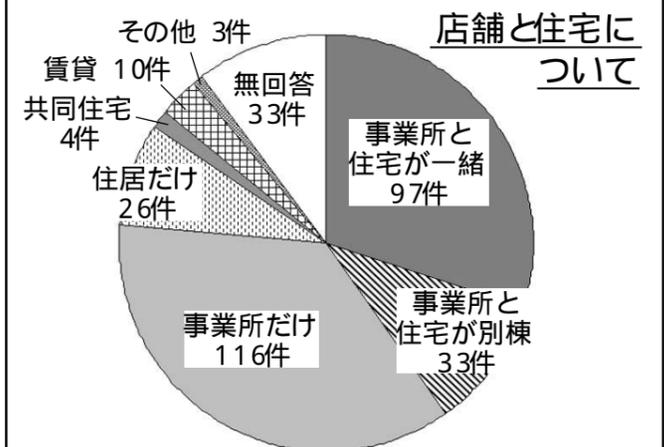


稲生町で事業をされている回答者の業種は、理美容・不動産などのサービス業が最も多く、次に衣料品・身回雑貨と続き、飲食店と食料品店はやや少なめという結果がでました。なお、飲食店の数は、営業時間の関係でアンケートを配布できなかった店があったため、実際よりかなり少なめとなりました。

後継者の有無と今後の事業の方向性

今後の方向性	後継者について				計
	いる	わからない	いない	無回答	
現状のまま継続	67	59	47	8	181
近い将来廃業を	0	5	21	0	26
業種転換	2	3	5	0	10
わからない	7	21	20	0	48
その他	1	0	1	0	2
無回答	1	0	0	0	1
計	78	88	94	8	268

268件の事業者から後継者の有無と今後の業態について聞いたところ、後継者がいると答えた方のほとんどは現状のまま継続すると答えましたが、後継者がいないと答えた方の中で廃業すると答えた方が多く見られました。



店舗と住宅についての質問では、事業所だけと答えた方の割合が35%ですが、更に分析すると、事業者の約半数が稲生町外に住んでいることがわかりました。